

1. 研究課題名：気候変動対策の進捗評価を目的とした指標開発に関する研究

2. 研究代表者氏名及び所属： 亀山 康子
(国立研究開発法人国立環境研究所)



3. 研究実施期間：平成 27-29 年度

4. 研究の趣旨・概要

気候変動対策を目的とした新たな国際枠組みへの合意が 2015 年末の COP21 で目指されているが、国の排出削減目標水準は各国内の決定に任せられ、法的拘束力を伴わない約束として位置付けられる可能性が高まっている。そのため、この枠組みでは、目標値の水準よりも、目標達成を目指した政策導入の進捗を定期的にチェックするプロセスが重要となる。そこで、本研究では、主要国（日欧米中）の気候変動対策の進捗に関する調査を実施し、国の対策進捗を測るモノサシとなる指標を開発し、最終的にはそれが全ての国に適用可能な指標となりうる制度提案を目指す。このような指標を用いることで、国の横断的比較や、効果的な政策同定が可能となる。

5. 研究項目及び実施体制

- (1) 気候変動対策の進捗評価のための手法および国際制度に関する研究（国立研究開発法人国立環境研究所）
- (2) 再生可能エネルギー政策の評価および気候変動対策の進捗評価の法的側面に関する研究（名古屋大学）
- (3) エネルギー供給分野での政策および資金支援の評価に関する研究（公益財団法人地球環境戦略研究機関）
- (4) 炭素市場・炭素税の主要国動向調査および評価に関する研究（早稲田大学）

6. 研究のイメージ

